

職員による自己評価

A環境面

- 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切だと考えている。
- 自己評価シートをどこで公開しているのか把握している。
- 研修の機会は設けられている。

B適切な支援の提供

- 平日、休日ともに課題を細かに設定して支援をしており、支援開始前終了後に必ず打合せを行い改善に繋げている。

C関係機関との連携

- サービス担当者会議はその子どもの状況に精通したものが参加している。
- 学校との情報共有は保護者を通じて行っている。
- 諸関係機関との連携は保護者を通じて共有されているため、直接のやり取りはあまりない。

D保護者への説明責任・信頼関係

- 子どもの発達状況や課題について保護者と伝えあい、共通理解を持っていると考えている。
- 協議会への参加は積極的に行っている。
- 月に1度会報を発行している。
- 個人情報の扱いは慎重に行っている。

E非常対応

- 避難訓練・虐待防止研修を行っている。
- ヒヤリハットを作成し共有している。

保護者による評価

A環境面

- 活動スペースは十分に確保されているという意見が多い。
- 職員の配置数・専門性は適切である。

B児童への支援内容

- 放課後等デイサービスの計画について支持されている。
- 活動プログラムの固定化はなく、工夫されていると支持されている。

C事業所からの情報発信

- 日ごろから保護者と利用者のことに関して共有し、共通理解していると考えられる。ていねいに伝えることで共通理解が深まる一方で、玄関が狭くお迎え時間が重なると保護者に焦りを感じさせてしまっているということがわかった。
- 保護者会については負担に感じるという意見もあった。
- 定期的に開放やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している。

D保護者への説明・非常対応

- 個人情報に十分注意している。
- 定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定などの情報を発信している。
- 避難訓練が行われていることを認知しているが、具体的な内容などはわからないという意見がある。

事業所内での分析

【共通点】

- 活動プログラムや固定化しないように工夫していることに関して、保護者・職員共に概ね固定化はないと判断している。
- 保護者への説明責任・信頼関係は保護者・職員共に概ねできていると判断している。
- 個人情報の取り扱いについて概ね保護者・職員共にできていると感じているためより強化をしていく。
- 定期的に会報を発行して、活動内容や行事予定等の情報発信している。

【相違点】

- 避難訓練を実施していることは周知できているものの、具体的な内容を発信する必要がある。
- 職員側に「どちらともいえない」意見が多くみられるため研修等で理解を深める強化が必要。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- 活動プログラムの固定化がない。子ども一人ひとりに合わせた課題を日々考えて取り入れている。
- ありがたいことに子どもたちは利用を楽しみにしてくれており、保護者も事業所の支援に満足してくれている。
- 非常災害発生に備え定期的に避難訓練を実施している。

事業所の改善点

- 既存の建物へのバリアフリー化は難しいものがある。しかし、視覚支援等室内のバリアフリー化はできると思われる。
- 保護者のお迎えが重なってしまうと焦ってしまうという意見がある。
- 職員の「どちらともいえない」という意見が多いため理解を深める強化が必要。
- 防災訓練などの実施は周知されているが、実際の参加や具体的内容を知る機会を設けたい。

事業所の改善への取り組み

- 前年は保護者、職員共に「どちらともいえない」が多くなっていたが、説明や情報発信により保護者の「どちらともいえない」が減っていた。また、回答率が上がっている。
- 「お迎えが重なってしまうと焦ってしまう」という貴重なご意見いただき、インターホンを受けた際に「お待ちください」など一声かける、玄関先で話す量や時間をコンパクトにする等の工夫をしていきたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度も自己評価シートへのご協力ありがとうございました。前年度より回答率が上がっておりまして嬉しく思います。お忙しい中ご回答いただきありがとうございます。今後も子どもたちに安心安全に過ごしていただけるように、支持されております活動プログラムの固定化しないような工夫を強化し、楽しく活動していきたいと思っております。そして活動の様子を保護者様にわかりやすくお伝えできるよう改善と工夫ができるよう日々精進して参ります。今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。